



共生

黒木隆之 書

2018年10月

第 29 号

災害支援ネットワークの構築に向けて

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会
会長 久木元 司



鹿児島において鮮明に記憶されている自然災害では、平成5年8月6日に発生した豪雨災害、いわゆる「8・6水害」であろう。死者71名、負傷者142名、建物被害では全壊437棟、床上浸水9118棟という甚大な被害を及ぼした。その際、多くの福祉施設でも被害を受け、給水支援はじめ、様々な支援を受けた。また、一部福祉施設では、避難所としての役割も担った。

当時は、災害支援のネットワークも十分に構築されておらず、福祉施設は独自での対応が求められ、様々な生活物資を苦労してかき集め、利用者の対応に追われた記憶がある。

最近の我が国の災害は、これまであまり災害が起こっていなかった地域でも発生し、さらに予期せず、発生するケースが多くみられている。

今年7月に岡山県、広島県、愛媛県で発生した西日本豪雨災害では、200名を超える死者が出て、今なお多くの人たちが避難生活を余儀なくされている。改めてこの災害で犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに一日も早い被災地の復旧を心より願いたい。

全国社会福祉法人経営者協議会（以下、全国経営協）でも災害支援基本方針（平成30年5月策定）が示されている。全国経営協として基本的な考え方を示すとともに各会員法人、ブロック協議会、都道府県経営協においても災害支援活動が、より積極的に展開されるよう、取り組み内容が提示されている。さらに全国経営協「災害支援マニュアル」も作成され、各会員法人に災害への備えと必要なポイントや考え方各都道府県経営協が果たすべき役割等について解説されている。

国からも災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドラインが示された。ガイドライン作成時には、国の会議に全国経営協からも委員として参画し、私どもの意見が大いに反映されたガイドラインになっている。

内容としては、平時のネットワーク会議や事務局体制の整備に加え、災害発生時のネットワーク本部の設置など、常日頃から体制整備を求めるものになっている。

鹿児島県においても国のガイドラインにそって「災害福祉広域支援ネットワーク協議会」が組織され、鹿児島県の福祉災害ネットワークの議論が始まった。私も県経営協の立場から委員として参画させて頂き、福祉災害支援ネットワークのあるべき方向性を議論して参りたいと考えている。

現在の課題認識としては、「かごしまおもいやりネットワーク事業」同様に、どれだけ社会福祉法人に賛同して頂き、参画意識をもっていただけるかということである。

岡山県においては、今回の豪雨災害では、既に組織されていた岡山県DWA Tが活躍し、県内で被災されていない地域の法人から被災地に物心両面からの支援活動がなされたと聞いている。

是非とも鹿児島県でも早急に災害支援ネットワーク作りを構築したいと考えている。

第2回県社会福祉法人経営者セミナー終了報告

＜将来を見据えて、今取り組むべきこと＞

平成30年度第2回県社会福祉法人経営者セミナーを平成30年7月24日(火) 206名の参加のもと鹿児島市内のホテルで開催いたしました。

今回のセミナーは、特に会員法人が不安と感じている「人材確保」、「広報戦略」、「地域における公益的な取組」をキーワードに、経営者が押さえておくべきポイントや着眼点について理解を深め、将来を見据えた法人経営の確立に資することを目的として開催しました。

制度改革を踏まえた法人経営の在り方について、全国経営協 地域共生社会推進委員会副委員長 宮田裕司氏から「将来を見据えて、いま取り組むべきこと～社会福祉法人制度改革を踏まえて～」と題して、地域共生社会をはじめとする社会福祉法人を取り巻く動向、経営者として押さえておきたい『福祉人材確保マニュアル』のポイントなどの講義がありました。

引き続き、全国経営協事務局から「見落とし注意!指導監査ガイドライン改正のポイント」、「全国経営協の人材確保関連ツールのポイント解説」と題して講義がありました。経営者として押さえておきたい指導監査のポイント、指導監査ガイドライン見直しの内容、人材確保関連マニュアルのポイント解説等について詳しく説明していただきました。

最後に「鹿児島県における複数法人間連携の取組の実施状況」と題して、かごしまおもいやりネットワーク事業の取組及び実施状況等を事業部会長 吉留康洋が報告いたしました。

セミナー終了後のアンケートには、「講師の先生の語り口が柔らかく、とても分かり易かった。」、「資料が豊富であり、他の研修会では得られない情報が得られた。」等のご意見が寄せられ、大変有意義な講演となりました。

なお、今年度もこの後、12月11日に「第6回鹿児島県社会福祉法人経営者大会(都道府県経営協セミナー後期)」を予定しております。

社会福祉法人経営者の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。



～ 第1回保育部会開催 ～

本年度第1回保育部会が、7月19日(木)に開催されました。この部会は、昨年、県経営協の組織として設置され、保育を取り巻く諸問題及び保育部会研修会の開催等について取り組んでいます。

今年度も、会員拡大への取組、また第2回保育部会研修会開催等について、活発な協議がなされました。

会員拡大への取組については、会員法人のうち、保育関係法人の占める割合は低く、全国経営協における組織率50%を達成するには、保育施設等への働きかけが重要となる等の報告がなされました。

また、第2回保育部会研修会を、平成31年1月18日に「マリパレスかごしま」での開催とする旨を決定いたしました。

テーマは「社会福祉施設等概要報告書及び自主点検表からみる法人運営」講師は「鹿児島県くらし保健福祉部子育て支援課認可・指導係」にお願いしております。

会員・会員外を問わず、保育関係者の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。



『「かごしまおもいやりネットワーク事業」本格実施に向けて』

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会では「かごしまおもいやりネットワーク事業」に係わる「相談員・コミュニティワーカー養成研修会」を、8月7日・8日の両日開催しました。当日は参加申込みをされた法人及びこれから参加を予定している法人の、相談員またはコミュニティワーカーとして支援活動を担っていく職員の方々が研修に臨みました。7日は相談員としての内容を116名（CW55名を含む）が、8日はコミュニティワーカー対象者55名が受講しました。

この研修会には県内の福祉専門の講師8名と、外部講師として香川県琴平町社協の越智和子事務局長を招請して、福祉に関する諸制度や支援の在り方、福祉に携わるための感性等について、内容豊富で有益な資料をもとに行われました。

特に二日目の越智氏の指導による「ロールプレイング」では、『8050』問題（高齢の親《80歳》が無職等の子《50歳》の面倒をみている）をテーマとしたロールプレイが行われ、支援者と被支援者に分かれた迫真の演技は、これから始まる実際の支援の厳しさを想起させるものでした。最後に越智氏からの「支援は『ニーズキャッチ』『アウトリーチ』が基本である」との言葉が印象に残りました。

それぞれの研修を受講した方には「修了証書」を、施設には「相談窓口」のプレートが渡されました。そして施設や社協で支援活動が始まっていますが、事務センターには、8月末日現在10数件の問合せが寄せられています。センターでは寄せられた質問等を「Q&A」に集約し、配布できるようにしたいと思っています。

池に放り込まれた小さな小石の波紋のように、支援の輪が徐々に広がっていくことを信じています。



第1回社会福祉法人会計研修報告

～適正な会計処理と課題解決に向けて～

7月9日(月)、平成30年度第1回社会福祉法人会計研修を鹿児島市内のホテルにて開催いたしました。公認会計士 宮川秀樹氏を講師に、県内各社会福祉施設から236名の参加をいただきました。

今回は、「新会計基準」移行後の諸問題及び会計全般についての講義と、事前の質問事項に関する回答・解説等を研修の目的といたしました。

講義は、テキストの「社会福祉充実残高」、「経過勘定」、「支払資金」等の項目に添った、質問事例を交えながらの具体的な説明となりました。

また、会計研修終了後に、それぞれの施設の質問事案に対する個別相談を実施いたしました。

なお、公認会計士の宮川先生には、県社協内福祉施設経営相談コーナーにおいて、文書・電話等による会計に関する相談もお願いしております。お気軽にご利用ください。



県社会福祉施設経営相談コーナー

県社会福祉施設経営相談コーナーでは、職員を配置し、文書、電話等により法人経営・施設運営に関する相談を受け付けています。

秘密は厳守され相談は無料ですので、お気軽に御利用ください。

- ◇専任指導員 1名
- ◇兼任指導員（公認会計士） 1名
- ◇顧問弁護士（県経営協による委嘱。内容により弁護士会所定料金が必要になります。）

◎連絡先：TEL 099-257-9885 FAX 099-250-9358

◎担当：中島・藤井



全国経営協「平成30年度九州ブロック会議」開催報告

～各組織間における双方向性の向上及び経営協組織の強化に向けて～

全国経営協「平成30年度九州ブロック会議」が、7月27日（金）福岡市で開催されました。この会議は、全国経営協が主催するもので、経営協組織の双方向性を活かし、会員法人への支援機能の強化や経営協活動の活性化を目的とした、全国7ブロックで開催される会議です。

九州ブロックにおいて全国経営協磯会長から冒頭の挨拶の中で、「7月豪雨の中国・四国における被害状況について「発災直後より厚労省等と連絡を取りながら支援体制の構築に向け検討を進め、現在、支援活動が展開されている。」との報告がなされました。

続いての基調報告では、社会福祉法改正や課税問題、報酬改定、広報戦略などに関する実績と成果を報告するとともに「地域共生社会の実現」、「人材確保・定着」、「組織強化」の3点の重点課題について、全国経営協の推進する取り組みや検討状況についての説明がありました。

次に、組織強化に向けた4つの柱として掲げている『会員組織化率 50%達成』、『災害支援体制構築』、『双方向性の向上』、『地域における公益的な取組』について協議し、各県経営協役員からさまざまな意見が出されました。

本県からは、久木元会長、水流副会長、山内青年経営者部会長が参加し、本県における上記4つの柱の取組状況及び要望等について次のような意見を述べました。

『会員組織化率50%達成』については、未加入法人の分析を行い、各種別毎の働きかけを行っていくこと。『災害支援体制構築』については、

現在、県主管部局において災害支援体制の素案を作成中とのことであり、主管部局の動向を見ながら、各種別協と連携し協力体制を整えていくこと。『双方向性の向上』については、従来の「青年部会」、「研修・広報部会」、「保育部会」との連携に併せて、県経営協ホームページを通じて情報の発信を行っていくこと。『地域における公益的な取組』については、「かごしまおもいやりネットワーク事業」を7月から実施し、今年度100法人の参画を目標に取り組んでいる旨の説明を行いました。

また、全国経営協に期待する役割等について、鹿児島県経営協としては「福祉人材の処遇改善、次期報酬改定に向けた課題等の他、潜在有資格者の福祉業界に呼び戻すための対応策、法人間連携の推進等に対応していただきたい。」旨の要望を行いました。

なお、全国経営協では、ブロック会議で寄せられた意見を集約・分析し、会員法人に対する支援方策ならびに今後の全国経営協事業の進め方等について検討することとしています。



平成31年度県政に対する意見交換会開催

～自民党県連による県政に対する要望・意見交換会開催～



出席し、それぞれの種別協から提出していただいた要望書に基づき説明をいたしました。

なお、要望書は、各種別協から「人材確保」及び「法改正による諸問題」等、多岐に渡った要望が多数寄せられておりますので、内容の詳細・回答につきましては、後日皆様へご報告いたします。

平成30年8月6日、鹿児島市内自民党県連会館において自由民主党鹿児島県支部連合会との「個別意見交換会」が開催されました。この会は、自民党県連が県内の各業界、団体におけるそれぞれの施策要望等を聴き取り、県へ申し入れをするものです。

当方からは、経営協、老施協、知障協、保育連合会、社会就労センターの各代表が



より良い保育園経営をめざして

社会福祉法人 友岡福祉協会

白崎保育園 園長 友岡 善信



当法人は昭和43年鹿屋市に設立され、昨年創立50年を迎えました。設立当初から保育所一施設のみを運営する小規模法人ではありますが、常に目の行き届いたより質の良い保育が行える保育所を目指して日々運営を行っています。

保育所は2015年の児童福祉法改正により「保育に欠けるその乳児又は幼児を保育することを目的とする施設」から「保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする施設」へと定義が変更され、これまでよりさらに多様化されたニーズに応えることが求められるようになりました。

しかし、求められているニーズ全てに応えるのではなく、求められているニーズの中から子ども達の最善の利益を第一に考え、子ども達にとって一番の幸せは何かというものを常に念頭に置いてニーズを精査していかなければなりません。保育所の大きな役割の一つに子育て支援がありますが保育所に求められている子育て支援とは何か、保護者の方々が子育てを負担に感じるのではなく、子育てに喜びを感じられるようにする為に保育所はどのような支援を行っていくべきか、常に自問自答する毎日です。

「三つ子の魂百まで」という言葉もあるように、その子にとって人間形成が行われていく中で一番大事な乳幼児期に多くの時間を過ごす保育所において日々成長していく子ども達の姿に喜びを感じつつも常に責任

感を持ちながら保護者の方々と協力連携し子ども達が楽しく通える保育所、保護者の方々が安心して預けられる保育所を目指しています。

また、私は昨年度から園長となり職員を管理する立場として、より多くの時間を子ども達と接する職員の精神的な安定、ワークライフバランスを充実させることを考え職員処遇に取り組んでいます。家庭における子育てと同様、職員が子ども達と接する時、職員自身の精神状態が安定していなければ子ども達への影響は大きなものとなります。職員のワークライフバランスがより充実し、良い精神状態で日々の業務に従事できるよう、業務の効率化や書類作成作業等の簡素化出来るところは簡素化を行い、仕事によってプライベートやその他の時間が犠牲にならないよう出来るだけ定時での帰宅を推進しています。職員の皆が心に余裕を持ち、気持ちよく働ける職場環境づくりこそが子ども達に対する質の良い保育と保護者に対する最良の子育て支援に繋がっていくと信じ業務を行っています。

まだまだ二年目の新米園長ですが、前園長であります当法人の理事長や経営協をはじめとする様々な団体の諸先輩方から助言を頂きながら子ども達にとっての「幸せ」「喜び」とは何か、常に自問自答し続け、これからもより質の良い保育、より良い子育て支援を追求していきたいと考えています。

経営協に加入しましょう!!

私たち社会福祉法人が果たしている役割を広くアピールしながら、身近な社会福祉増進にさらに貢献できるよう、全国経営協に結集して会員の充実・強化に向けた政策提言を進めていきます。

・・・組織力を高めて「経営協」を大きな力にしていこう!・・・

加入申込は県経営協事務局まで TEL 099-257-9885



「第6回鹿児島県社会福祉法人経営者大会」開催要項 『都道府県経営協セミナー（後期）』（案内）

1. 趣 旨

社会福祉をめぐる議論は「制度論」から「実践論」へと移り、社会福祉サービスの主たる担い手である社会福祉法人には、非営利法人にふさわしいガバナンスと高い透明性を備えた自主・自律的な法人運営が求められています。

また、人口減少や少子高齢者社会の到来の中にあって、中長期での経営計画に基づき、先を見据えた法人経営の力を身につけ、安定的かつ質の高いサービスを継続することが、今まで以上に求められています。一方、地域共生社会の実現に向け、これまで地域のさまざまな課題に対して先駆的な実践を重ねてきた社会福祉法人のノウハウを活かし、社会の希望に応える姿を積極的に見せていくことが必要となります。

こうした社会福祉法人を取り巻く情勢の変化の中で関係者が一堂に会し、その果たすべき役割について理解を深め、社会福祉法人として地域社会の信頼をさらに得るための方策等を研究・協議することで共通認識を深め、もって社会福祉法人経営の質の向上に資することを目的として開催します。

- 2. 主 催 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会
- 3. 共 催 全国社会福祉法人経営者協議会
- 4. 後 援 鹿児島県、社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会ほか
- 5. 開 催 日 平成30年12月11日（火）
- 6. 会 場 城山ホテル鹿児島
- 7. 募 集 10月下旬頃、開催通知及び募集案内をいたします。
- 8. 日程・内容

期日	時間	内 容
12月11日（火）	10:00～10:30	開 会・主催者挨拶 来賓祝辞（県知事、県社会福祉協議会会長） 大会宣言
	10:35～12:00	基調講演「調整中」（後期） 全国経営者協議会 副会長 武居 敏 氏
	12:00～13:00	昼 食 3階（サファイア）
	13:00～13:45	講 義「調整中」（後期） 全国経営者協議会 事務局職員
	14:00～15:10	記念講演「地域共生社会構築における社会福祉法人の役割と期待」 日本社会事業大学 名誉教授 大橋 謙策 氏（元日本社会事業大学学長）
	15:25～17:00	第1分科会 2階（アメジスト） テーマ【地域における公益的取組】「地域における社会福祉法人の役割」 文京学院大学 准教授 中島 修 氏（元厚生労働省専門官） 第2分科会 4階（パール） テーマ【人材確保】「福祉人材をめぐる動向について」 厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室長 柴田 拓己 氏
	17:30～	懇親会 本館4階（レインボー）

9. 大会についてのお問い合わせは、経営協事務局まで

事務局便り

【これからの経営協の取組み（予定を含む）】

平成30年10月1日現在

月	日	行事名	場 所	主な内容等
30年10	19	知事との懇談会	県 庁	各種別協の要望事項等
11	1	第2回会計研修	城山ホテル鹿児島	会計実務講義及び質疑応答等
11	22	会計〔初任者等〕研修	マリンパレスかごしま	社会福祉法人会計基準の基礎等
12	11	第6回鹿児島県経営者大会	城山ホテル鹿児島	都道府県経営協セミナー（後期） 基調講演、記念講演、分科会
31年1	18	第2回保育部会研修会	マリンパレスかごしま	社会福祉施設等概要報告書及び自主点 検表からみる法人運営
1	24	第3回会計研修（奄美会場）	奄美サンブラザホテル	決算会計業務及び質疑応答等
2	7	第3回会計研修（鹿児島会場）	城山ホテル鹿児島	決算会計業務及び質疑応答等
2	中旬	有識者懇談会	未 定	指導監査結果及び課題等の意見交換